

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	クオリスキッズ南小岩保育園
施設所在地	東京都江戸川区南小岩 5-16-13

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「数字・図形」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

クオリスキッズ南小岩保育園は周辺に公園が多くあり、大きい広場で、子どもたちが地面に図形を書いて遊んだり、その図形を使って集団遊びする姿がよく見られた。園では日常の中で子どもたちが興味関心をもって、探求していく事を大切にしている。5歳児クラスはパズルや組み立て遊びなどを好む子が多く、図形などに関心が高かった。また、遊びの中で自然と数字が出てきており読み書きが得意な子もいた。その中で就学に向けてもクラス全体として数や図形などに興味を持てたらいいのでは、また、苦手としている子も遊びの延長として取り組む事で少しでも楽しいと感じる事ができないか、というねらいで取り組んだ。子どもたちが興味関心を持った活動をより深められるようにテーマを設定し活動を行った。

2. 活動スケジュール

4月18日(金)	9月11日(木)	2月9日(月)
5月14日(木)	10月23日(木)	3月23日(月)
6月6日(金)	11月14日(金)	
7月9日(水)	12月18日(木)	
8月4日(月)	1月23日(金)	

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

図形を認識し組み立てる(くみくみスロープ、ラキュウなど図形玩具)

数量、数を認識しながら遊ぶ(ボードゲーム、IQパズル)

活動時や全体発表に使用する(ワイヤレススピーカー)

活動の作品を展示する(ピクチャーレール)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

図形を組み立て、自らが作り上げる玩具を多く保育室に設置し主体的に遊べるようにしていった。最後の活動時は全クラスの前で5歳児が1年間どんな取り組みを行ってきたかを発表する場を設けた。また毎月1回、映像プログラムとプリントプログラムを行った。映像には級ごとに違った問題が出されそれにこたえていく。プリントはグループに分かれ行っていく。また、プリント活動に使用するプリントは常に保育室に常備し活動日以外にも楽しめるようにした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

ブロックなどの遊び方を伝えると興味を持ち、最初は上手く組み立てられなかったり、上手く並べられなかったりしたが、繰り返し行うことで少しずつコツを掴み、「見て！上手になってきた！」と嬉しそうに知らせていた。その中で、友だちが行っているものにぶつからないように配慮したり、「長く並べられてすごいね！」と褒めあたりと思いやりのある優しい姿がたくさん見られた。

最初は問題に戸惑う子がいたり、自信がなく声が小さい子もいた。それぞれの子に対し、間違っているけど大丈夫と声をかけていった。プリントはグループで答えを導きだしてもいいので「合ってる？間違い？」など会話を楽しみながら進めていた。回を重ねるごとに問題のスピードが速くなるが自信もついてきているので、「早い方が楽しい」というこえが多くなってきた。後半には子ども達の方から「いつ(すくわく)やるの？」と催促をし始めるほどであった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども達の興味関心はかなり差がみられていた。また、本当は数字・図形などに興味があるが、自信のなさから参加を拒んだり積極性が見られなかったりする姿があると気が付いた。間違えてもいい、分からなければ聞けばいい。という事をくり返し伝えていったことで今回の活動内容に対してだけではなく様々な活動において主体的に質問や友達同士での話し合いが出来るようになってきたと思う。

図形を組み立てる遊びにおいては、今までは分からない出来ない事に対し保育者に助けを求める事が多かったが繰り返し学んでいく事で、自分で考えたり参考書を活用したりして作り上げられるようになった。